由利本荘市立由利中学校 校報　　「チーム由利中　心ひとつに」

根堀台だより

平成27年9月4日

第 41 号

校 訓「 進 歩（文 ）」「 健 康（武 ）」「 協 力（道 ）」

由利中の頑張りを拝見
「北海道福島町」学校視察

１年生は理科の授業

３年生は数学の授業

２年生は英語の授業

９月３日（木）の午後、北海道の福島町から４名の先生方がご来校され、本校を視察されました。福島町は渡島半島の先端部に位置する「海峡の町」で、人口は５千人弱であり、由利地区とほぼ同規模で、「過疎化」という共通の課題を抱えた地域でもあります。

福島小学校からは教頭の〇〇〇〇先生と教諭の〇〇〇〇先生、吉岡小学校からは教諭の〇〇〇〇先生、そして福島中学校からは教諭の〇〇〇〇先生がおいで下さいました。中でも、福島中学校は生徒数９９名ということで本校と同規模の中学校といえます。

最初に授業参観を行い、１年Ａ組の「理科」、２年Ａ組の「英語」、３年Ａ・Ｂ組の「数学」をご覧頂きました。由利中生の真剣に授業に取り組む姿勢や先生方の丁寧な指導ぶりにお褒めの言葉を頂くことができました。

授業参観後は研究協議を行いましたが、福島町の先生方からは「家庭学習をどうやったら習慣化できるのか」、「ノートの指導はどう進めているのか」「学習の約束」など由利中の取組を中心に質問がありました。

特に、本校では部活動のある日でも全校平均で２時間ほど家庭学習に取り組んでいるということに大変驚いていました。これは由利小学校の頃からずっと継続して取り組んできたことであり、生徒も、教師も、家庭も「当たり前のことを当たり前にやってきただけ」なのですが、改めて「小さな積み重ねるが大きな財産となること」を痛感させられました。

そして何よりも、我々秋田県内の学校では比較的簡単にできることであっても、他の地域では色々な制約があって容易ではないという話を聞けば、「由利中でよかったな」と思うことが沢山ありました。

しかし、課題も沢山あります。授業中における活動のメリハリや根拠をあげて自分の考えを話す「話形」の習得などこれから全校体制で取り組まなければならないことがあります。さらに向上する由利中生を目指していきたいと思います。

わたしの主張 2015

想いを語る〇〇さん

９月２日（水）の午後、西目町のシーガルを会場に第３７回少年の主張秋田県大会県中央地区予選大会「わたしの主張２０１５」が行われ、本校からは３年生の〇〇〇〇さんが出場しました。本荘由利の各中学校代表の１３名に、秋田市の附属中学校と太平中学校の代表２名を加えた１５名の生徒が熱のこもった弁論を繰り広げました。

〇〇さんは「あなたも隣の人も」という題で、自分の体験から、悩んだり、苦しんだりした時は、自分の身近な人に勇気をもってその思いを伝えることで解決できるということを、想いを込めながら堂々と発表してくれました。大変素晴らしい弁論で、「優良賞」を頂くことができました。由利中祭でも是非聞きたいものです。

なかよし交流会 頑張りました

開会式の様子

〇〇さん撮影仲良し２人組

９月３日（木）、由利町のＢＧを会場に鳥海小・中学校、矢島小学校、由利小・中学校合同の「なかよし交流会」が開催されました。本校から〇〇〇〇〇先生と〇〇さんと〇さんが参加しました。

久しぶりに天気もよく、気温も高い日でしたが、レクリエーションなどいっぱい汗を流しました。

〇さんはゲームに熱中してしまい、足が痛くなるほど頑張り過ぎてしまいました。

また、〇〇さんはデジカメで沢山友だちの頑張る姿や食事のメニューなどの写真を撮って、記録してくれました。

この「なかよし交流会」を通して、他校の先輩のリーダーシップを発揮する姿に直接触れたり、小学校の後輩たちに優しく接したりするなど、普段の学校生活では体験できない貴重な時間を過ごすことができました。

「ゆりえもん」でおいしいお昼ご飯を食べることができたりと、少し羨ましいところもありました。

Ｃ組担任の〇〇先生がご家族のご不幸があって今週お休みしていたこともあり、〇〇さんにとって交流会が始まる前は少し不安な気持ちもあったと思います。でも、〇〇さんがきちんと自分の責任を果たして頑張る姿に、大きな成長を感じました。本当によく頑張ったと思います。